

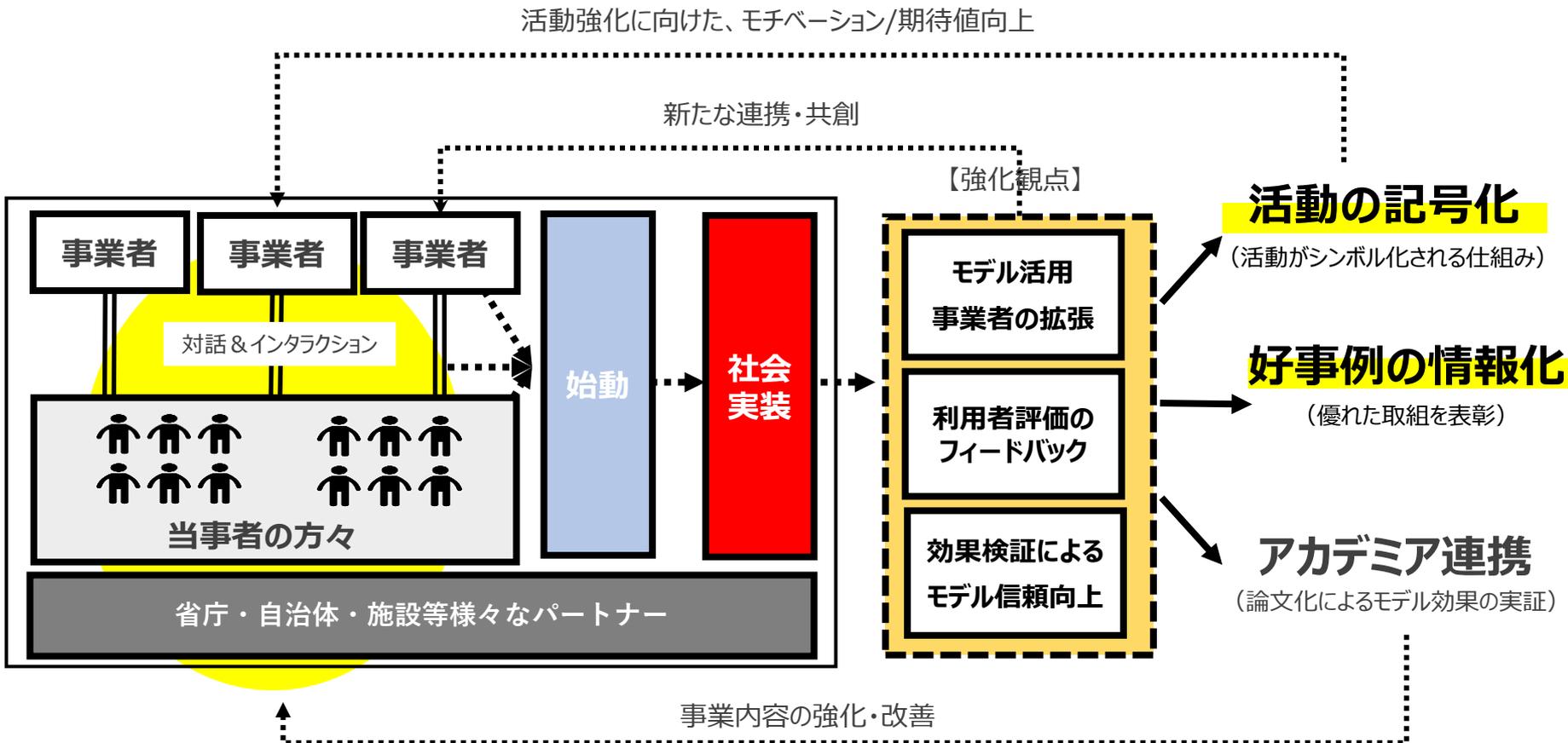
リレートーク資料

(令和6年 3月 日本認知症官民協議会 総会)

Hakuhodo DY Matrix / 博報堂

根本豊

当事者と事業者間の「共創」の仕組みの磨きこみを行っていくべき。
「活動の記号化(シンボライズ)」が当面のテーマ。



ブランドサイトやカンファレンスを通じて仕組みを情報化。
活動をシンボル化していくため今後の新たな取り組みを検討中。

オレンジイノベーション・プロジェクト(活動全体のハブ役)



<https://www.dementia-pr.com/>

表彰システムに関する準備 (当事者参画型開発に取り組む企業をアイコン化)

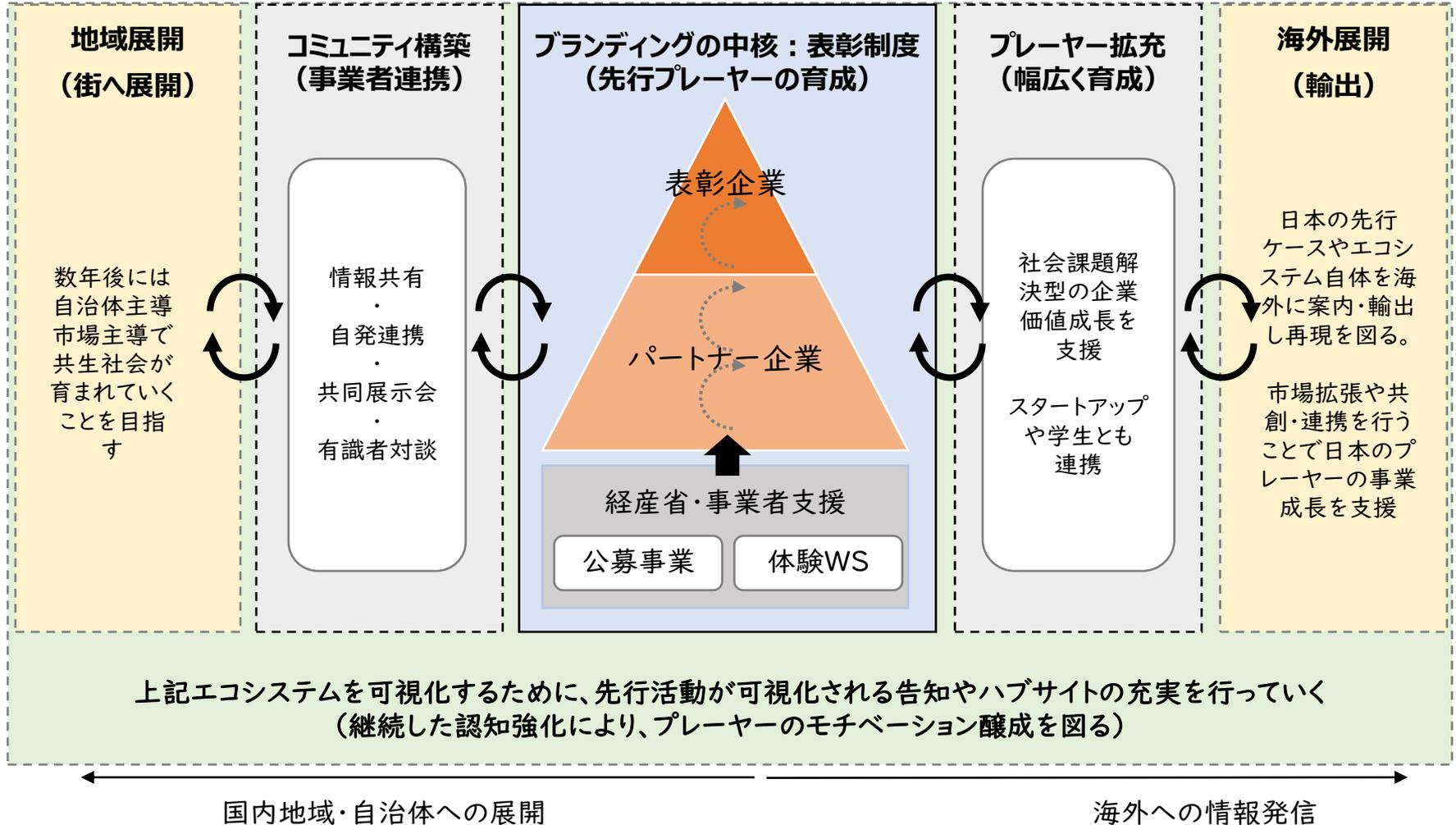


認知症イノベーション・カンファレンス (先行企業や今後の発展性に関するダイアログ)



今後に向けて:更に多様なプレイヤーが集まる仕組み構築に向けた議論

コミュニティ機能を活性化させてムーブメントを国内に拡散したい。
様々なプレイヤーと共創の型を拡げて、活動の輪を広げていきたい。



当事者からの声を聞いて感じたこと(今後の議論テーマ)

世の中全般で認知症当事者の幸福感や生活理解が増え
生活者視点で、日常的に新サービスが着想される社会を目指していきたい。

